

総合評価方式の評価基準の見直しについて

1 評価基準の見直しについて

- 総合評価方式については、今年度から、対象工事を大幅に拡大し、既に昨年度を上回る件数を実施しているが、これまでの入札結果等を踏まえ、さらに適正な制度とするため、評価基準の見直しを行った。
- また、見直しに際し、現在の厳しい雇用情勢を踏まえ、雇用の確保等に努力している企業の評価を追加した。

2 特別簡易型における評価項目の見直しについて

(1) 検討課題

- 5千万円未満の工事を対象としている特別簡易型において、「優良工事表彰」の評価項目については、この項目の落札決定におけるウェイトが大きい。
- また、〈企業の技術力〉の各評価項目について、点数配分に幅が無く、実績等の有無のみの評価となっている。

(2) 対応方針

- 〈企業の技術力〉に関する3つの評価項目のうち、「優良工事表彰」の配点を3点から1点に縮小し、その分の配点を他の2つの評価項目の配点に振り替えた。
- 併せて、それぞれの評価について、実績の時期などに応じて幅を持った点数配分とした。

《各項目の配点》

評価項目	改正前	改正後
優良工事表彰	3.0点	1.0～0.5点
施工実績	3.0点	4.0～1.0点
工事成績点	3.0点	4.0～1.0点
最高点合計（企業の技術力）	9.0点	9.0点

《優良工事》

- 優良工事については、これまで10年以内の表彰実績を全て3点としていたが、5年以内の表彰実績を1点、5年を超え10年以内の表彰実績について0.5点の評価とした。

評価基準	改正前	改正後
5年以内の受賞実績	3.0点	1.0点
5年より前で10年以内の受賞実績	3.0点	0.5点

《施工実績》

- 施工実績については、これまで10年以内の施工実績を全て3点としていたが、10年を超え15年以内の施工実績についても新たに1点の評価とするとともに、5年以内の実績について4点の評価とした。

評価基準	改正前	改正後
5年以内の施工実績	3.0点	4.0点
5年より前で10年以内の施工実績	3.0点	3.0点
10年より前で15年以内の施工実績	—	1.0点

《工事成績》

- 工事成績については、これまで80点以上の成績を全て3点としていたが、75点以上80点未満の成績についても新たに1点の評価とするとともに90点以上の成績について4点の評価とした。

評価基準	改正前	改正後
90点以上	3.0点	4.0点
80点以上 90点未満	3.0点	3.0点
75点以上 80点未満	—	1.0点

3 工事の発注種別間の均衡等について（標準型、簡易型、特別簡易型）

（1）検討課題

- 法面処理や建築などの工事において、「除雪・維持補修の履行実績」を評価することが適切か。
- 災害出動実績において、業種や地域によって災害出動の頻度が異なることから、発注種別の違い等により得点の機会に差が生じやすい。

(2) 対応方針

《除雪・維持補修業務の履行実績》

- 「除雪・維持補修の履行実績」については、除雪等を扱う業種が対象となる一般土木工事、舗装工事の2つの発注種別においては評価対象とするが、これ以外の発注種別については評価対象とせず、これに替わる新たな評価項目を設定した。

発注種別	改正前	発注種別	改正後
一般土木工事 舗装工事 法面処理工事 建築工事 塗装工事など (18種別)	全ての発注種別で評価項目としている	一般土木工事 舗装工事 (2種別)	評価項目とする
		法面処理工事 建築工事 塗装工事など (16種別)	評価項目としない

※ 下記4のとおり、新たな評価項目を設定する。

《災害対応実績と災害応援協定》

- 災害時出勤実績を2.5点、県との災害応援協定の締結について1.0点としているが、発注種別や地域間の均衡を図るため、災害応援協定の締結に対する配点を災害出勤の実績と同じ2.5点とした。

評価基準	改正前	改正後
災害時出勤実績	2.5点	2.5点
(上記に該当がない場合) 県との災害応援協定締結の実績	1.0点	2.5点

4 「新卒・離職者の雇用実績」、「雇用の維持・確保」の評価について

- <企業の地域貢献>に関する評価については、これまでも、地域における雇用と安全・安心を支える地元建設業者を対象とする地域貢献の評価をしてきた。
- 地域の安全・安心については、災害対応や除雪・維持補修業務などを評価していたが、地域における雇用の確保を直接的に評価する項目はこれまで設定されていなかった。
- 現在の厳しい雇用情勢や、今年度から総合評価方式の対象範囲を大幅に拡大したことなどを踏まえ、「新卒・離職者の雇用実績」、「雇用の維持・確保」について、新たに評価の対象とした。

《評価基準及び配点》

- 雇用に関する次の2つの評価項目を設定し、それぞれ幅を持った点数配分としたが、地域の経済、雇用情勢等を踏まえ、得点の差は1点とする。

評価方法	配点
(1)「新卒・離職者の雇用実績」	
過去1年間に新卒者又は離職者を2名以上雇用している場合	2.5点
過去1年間に新卒者又は離職者を1名雇用している場合	1.5点
(2)「雇用の維持・確保」	
従業員数が1年前より増えている場合	2.5点
従業員数が1年前と同じ場合	1.5点

※ 新分野進出による雇用も評価対象となる。

《評価項目の選択方法》

- 全ての類型（特別簡易型、簡易型、標準型）に追加し、評価項目の追加に併せて、従来の評価項目との選択制を取り入れ、入札参加者が努力して取り組んでいる地域貢献の分野を多面的に評価できるようにした。

以下の4項目から、入札参加者が2項目を選択する。	
a	「災害対応・災害応援協定締結の実績」
b	「新卒・離職者の雇用実績」
c	「雇用の維持・確保」
d	「除雪・維持補修業務の履行実績」（一般土木・舗装工事に限る）

※ a～dのいずれも最高点は2.5点。

5 実施時期

- 11月9日（月）以降に公告する案件から適用する。

総合評価方式の評価点数の変動について

○一定の評価 ●工事ごとに評価が変動

項目	年度	平成21年度						備考
評価方式		除算方式（基準価格設定型）						
算定式		・評価値=(標準点+加算点)/評価値算出価格 ・評価値算出価格=入札金額 (入札金額が評価基準価格より低い場合は評価基準価格)						
対象工事		農林水産部及び土木部の工事（受託工事含む）						
対象案件	標準型	2億円以上は全件						
	簡易型	5千万円～2億円は全件						
	特別簡易型	3千万円～5千万円は全件 250万円超～3千万円は抽出						
	合計	1,000件程度						
加算点	標準型	55点（大規模又は重要な工事は75点）						
	簡易型	35点						
	特別簡易型	20点						
評価項目及び配点	型式等	標準型		簡易型		特別簡易型		(xxごと)は、同一企業でxxごとに評価が変動する
		項目	配点	項目	配点	項目	配点	
(企業の技術力)	施工能力	●	1.0	●	1.0	●	4.0	同種類似工事の実績（工事ごと）
	工事成績	●	1.0	●	1.0	●	4.0	同種類似工事の成績（工事ごと）
	優良工事	●	1.0	●	1.0	●	1.0	該当部門の表彰実績（部門ごと）
	品質管理	○	0.5	○	0.5	—	—	ISO9001認証取得（一定の評価）
	技術者確保数 (技能士の活用)	●	0.5	●	0.5	—	—	配置可能技術者（発注時期ごと）
		●	(0.5)	●	(0.5)	—	—	※上で得点できないとき（技能士職種ごと）
	小計		4.0		4.0		9.0	
(配置予定技術者の技術力)	施工能力	●	1.0	●	1.0	—	—	同種類似工事の実績（工事ごと）
	工事成績	●	1.0	●	1.0	—	—	同種類似工事の成績（工事ごと）
	優良工事	●	1.0	●	1.0	—	—	該当部門の表彰実績（部門ごと）
	資格保有	●	0.5	●	0.5	—	—	指定した資格保有（対象資格ごと）
	(継続教育)	○	(0.5)	○	(0.5)	—	—	※上で得点できないとき（一定の評価）
		小計		3.5		3.5		—
(企業の地域社会に対する貢献度) ★:地域要件により評価基準が変動する項目 (県内業者が評価の対象)	障がい者雇用	○	0.5	○	0.5	—	—	法定雇用達成等（一定の評価）
	安全管理	○	0.5	○	0.5	—	—	安全管理表彰受賞（一定の評価）
	環境配慮	○	0.5	○	0.5	—	—	ISO14001認証取得（一定の評価）
	県内業者活用	●	1.0	●	1.0	—	—	下請、資材の活用（工事ごと）
	子育て支援	○	0.5	○	0.5	—	—	認証取得（一定の評価）
	仕事と生活の調和	○	0.5	○	0.5	—	—	認証取得（一定の評価）
	新分野	○	1.0	○	1.0	—	—	5年以内の実績（一定の評価）
	同一市町村内工事実績	●	2.5	●	2.5	●	2.0	(工事施工箇所ごと)
	★入札参加者の所在地	●	2.5	●	2.5	●	2.0	(工事施工箇所ごと)
	★ボランティア活動	●	2.0	●	2.0	●	1.0	(工事施工箇所ごと)
	★消防団加入	●	1.0	●	1.0	●	1.0	(工事施工箇所ごと)
	A ★災害時出動実績 又は ★災害応援協定締結	●	2.5	●	2.5	●	2.5	(工事施工箇所ごと)
	B ★新卒・離職者の雇用実績	●	2.5	●	2.5	●	2.5	(工事施工箇所ごと)
C ★雇用の維持・確保	●	2.5	●	2.5	●	2.5	(工事施工箇所ごと)	
D ★除雪・維持補修業務の実績 (一般土木・舗装工事に限る)	●	2.5	●	2.5	●	2.5	(工事施工箇所ごと)	
	小計		17.5		17.5		11.0	
(施工計画適切性)	施工計画	●	10.0	●	10.0	—	—	(工事ごと)
	小計		10.0		10.0		—	
	合計		35.0		35.0		20.0	
加算点（標準型では小計）			35.0		35.0		20.0	
○同一企業が一定の評価となる項目の点数			4.0		4.0		0.0	※()の項目は除く
●工事ごとに評価が変動する項目の点数			31.0		31.0		20.0	
(技術提案)	技術提案①	●	10又は20					(工事ごと)
	技術提案②	●	10又は20					(工事ごと)
	小計		20又は40					
加算点（合計）			55又は75		35.0		20.0	